

島野浦中学校区（12月17日(月)開催・島野浦島開発総合センター）全体

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【地域おこし協力隊について】</p> <p>島浦にも若い人たちはいるが、仕事と兼業になるので、なかなか力が出し切れない。そこで今回、地域おこし協力隊を島に要請したい。一人でも二人でもいいので、100%島の中の人を引っ張っていける人を市長にお願いしたい。</p>	<p>地域おこし協力隊を、何とか島にも配置できないかというので、検討させていただきたいと思っている。</p> <p>今、3北におられるが、従来とは違った新しい発想で、それぞれ活躍していただいている。島の素晴らしさなど、今までの伝え方とは違った形で全国の人たちに伝えることを上手にしてくれる世代だと思うので、そういった方に是非来てもらえるよう、私共も検討を進めて行きたいと思う。</p>	<p>平成 31 年度に島野浦担当の地域おこし協力隊員を配置するよう、必要な予算を盛り込みましたので、今後その実施に向け取り組んでまいります。</p> <p>【企画課】</p> <p>○「地域おこし協力隊事業」【拡充】</p> <p>(H31 年度予算：26,986 千円)</p>
<p>【延岡駅のバス待合所について】</p> <p>バスを利用する。延岡駅に宮野浦行きバスの長い待合椅子がある。夏は暑く冬は寒い。なんとかしてもらえないか。車通りでもあるので排気ガスも気になる。</p>	<p>既に待合椅子はできているが見直していきたい。場所は変えられないが、同じ場所で日が当たらないようにするか、宮交と相談する必要があるが、待つことが楽しくなるようにしていかないといけない。また全部とはいかないが、主なバス停を屋根と壁のあるものにできればいいと思っている。</p> <p>皆さんが楽しくお客を増やしていく。お客が増えると本数も増やせるし、コースも増やせる。ご指摘の点はすごく大事な点だと思う。ぜひ出来ることから取り組ませてもらいたい。</p>	<p>そもそも何故あのようなバス待合スペースになってしまったのかと大変疑問に思っておりますが、まずは建物の中でバスを待っていたり、バス事業者とも協議し、またエンクロス内のキッズコーナー近くにバスをお待ちいただくための椅子を設けました。</p> <p>今後さらに何が出来るか検討してまいります。</p>
<p>【避難場所について】</p> <p>地震・津波があったとき、どこに避難すれば良いかわからない。</p>	<p>津波の時に避難する場所は決めていただいている。道が悪かったりする所は市も予算を計上し、ご要望のあった箇所については道を作ったり、材料代を提供し地域の事業者が工事をするをやって</p>	<p>本市におきましては、平成 26 年に津波の浸水想定域や浸水深、指定緊急避難場所が掲載された、延岡市津波ハザードマップを作成し、全世帯に配布させていただいております。</p>

島野浦中学校区（12月17日(月)開催・島野浦島開発総合センター）全体

	<p>きている。道の良くない所などはぜひご要望を具体的にまとめ、私どもと話をさせていただきたい。同時に避難訓練を是非やっていただきたい。他の自治体の事例を集め、効率的なやり方を皆さん方に相談させていただくので、島野浦に合ったやり方を見つけ取り組んでいただきたい。</p>	<p>あわせて、島野浦区と協議の上、避難路の整備も進めているところです。</p> <p>他方、島野浦区におきましては、区が中心となり、毎年、津波の避難訓練を行っております。</p> <p>今後、是非、ハザードマップをご覧いただくとともに、区が主催している避難訓練にご参加いただき、避難場所の確認をお願いいたします。</p> <p>【危機管理室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ハザードマップ作成事業」【新規】 (H31 年度予算：2,136 千円) ○「防災ハンドブック作成事業」【新規】 (H31 年度予算：16,870 千円) ○「協働・共汗津波避難路整備事業」【拡充】 (H31 年度予算：7,600 千円)
<p>【空き家問題について】</p> <p>島では70から80軒空き家があるという話だ。そこが古くなったりして危ないので、問題として考えていただきたい。空き家を強みとして移住の方に貸したりボランティアの方に遊びに来ていただいたり、観光で使えるなら一番良い。地域おこし協力隊の方に来ていただき問題として気にかけていただけたらと思う。</p>	<p>市内全体で第一次アクションを起こしていて、各区でなんとかしなければいけない空き家を挙げてもらい、10、11月に持ち主に100を超える通知を一斉に出した。空き家対策の法律で決まっていて、まず持ち主に呼びかけ、持ち主が何もしなければ代わりに市が壊し経費は持ち主に請求するという手順になる。区長と連携し動き始めたところ。島業創出のための会議を今年から開催させていただき、視察にも行っていただいている。空き家の活かし方についてもぜひアイデアをいただければと思っている。</p>	<p>平成31年度に新たに島野浦担当の地域おこし協力隊員を配置する予定です。また市が取組む「島業」創出支援事業の中でどのような活性化事業を行うべきか、ご指摘の件も踏まえ検討してまいります。</p> <p>【企画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域おこし協力隊事業」【拡充】 (H31 年度予算：26,986 千円) ○「『島業』創出支援事業」【新規】 (H31 年度予算：1,527 千円)

島野浦中学校区（12月17日(月)開催・島野浦島開発総合センター）全体

<p>【相談窓口について】</p> <p>普段いろいろ考えることがあるが、それを市役所のどこに相談すればいいのか。相談窓口が見えてこない。一か所で終わらない。どの窓口に行けばいいか分かり易くなるといい。</p>	<p>365日駆け込み寺というものを来年のどこかでスタートする。1か所で相談を受け止めることをしていきたい。介護・医療・福祉。もう一つは教育・子育て・いじめ不登校。この2つの分野を中心に相談能力のある方を配置させていただく。それ以外のこともお話をして関係部署に繋ぐ。別に地域担当職員制度設けようと考えている。どこかの部署の課長が同時に島野浦担当となった場合には、島の話のまるごとその人が聞く。その人がいろいろな部署へ繋ぐということを検討している。</p>	<p>平成31年度秋ごろをめどに「何でも総合相談センター」をオープンさせるべく取り組んでおりますので、その中でご指摘のワンストップ窓口についても対応していきたいと考えております。</p> <p>【健康長寿のまちづくり課】</p> <p>○「なんでも総合相談センター事業」【新規】 (H31年度予算：9,104千円)</p> <p>【健康増進課】</p> <p>○「なんでも総合相談センター事業（子育て支援）」【新規】(H31年度予算：4,382千円)</p>
<p>【介護施設のチェック機能について】</p> <p>延岡にある施設のチェック機能が欲しい。税金対策で施設を作っている事業主もいると思う。有料老人ホームは行政的な指導はできないということだが、延岡市に施設がある以上は市が監督するというような条例をつくるなどしてほしい。</p>	<p>まさに先程の365日駆け込み寺がそのような時に機能すると思う。当事者の間に担当が入り事業者とやり取りをすることで問題を客観的に抽出することもできる。</p> <p>有料老人ホームは監督が限られているが、監督権がなくてもできることをできる範囲で増やしていくということは探ればできると思うので、市民の皆様のお味方になれるように頑張っていきたいと思う。ご指摘ありがとうございます。</p>	<p>法律上、有料老人ホームに対しては、もともと役所の監督が限定的になっていますが、今後も市民の皆様のご心配に応えるために市として何ができるか検討してまいりたいと考えております。</p> <p>【健康長寿のまちづくり課】</p> <p>○「なんでも総合相談センター事業」【新規】 (H31年度予算：9,104千円)</p>

島野浦中学校区（12月17日(月)開催・島野浦島開発総合センター）全体

<p>【高速艇について】</p> <p>島の方は船を利用して病院に行っているが、波の高さなどの影響で足の悪い人は高速艇に乗れない。乗りやすい船になればとよく見ながら思うことがある。</p>	<p>日豊汽船に言うのは全くのすじ違いではなく、お客様の便宜に大事なことだと思うので、私からもぜひご指摘もお伝えしたいと思うし、声を上げていただくということから少しでも良くすることに繋がると思うので、話をさせていただきたい。できることできないことあるが、生の声として聴いてもらうことも大事だと思う。</p>	<p>今回、いただきましたご意見につきまして、運航事業者である日豊汽船様と早速協議しました。日豊汽船様からの回答は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、島野浦島の高速艇乗り場につきましては、天候や満潮、干潮等による波の高さに合わせて、乗り場の段差を少なくできるよう、階段を設置して対応を行なっております。 ・一方、浦城港につきましては、フェリーと高速艇の乗り場が兼用となっており、フェリーから車両を安全に乗降させるために、階段が設置されておりません。このため、特に浦城港においては、波が高い場合にご不便をおかけしておりますが、お身体の不自由な方や車いすを利用される方等については、乗組員が乗降のお手伝いをさせていただくことで対応させていただいております。 ・日豊汽船としては、引き続き、こうした対応を行なっていくことで、利用者の利便性の向上に務めさせていただきますので、ご理解を賜りたいと思います。 <p>以上のような回答でしたが、市として今後も状況を注視し、必要に応じて対策等を働きかけてまいります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------